

APU COOP 総代会に関する取り組み

第020号
(通算495号)



[組織運営]

取り組み概要

日時：2022年5月28日
場所：APUカフェテリア
参加者数や組合員の反応：10名の総代と
教員理事、Student Coop*のメンバーが参
加し、活発に意見を交流していた。

背景や概要：立命館大学生協の総代会は毎年関
西のキャンパスで行われるため、APUの組合員
にとっては馴染みがなかった。しかし、今年度
は職員・学生委員・教員理事の協同でAPU選挙
区の総代に向けた総代交流会とAPUのショッ
プでの総代会同時オンライン参加を実現した。

* Student Coop…APU学生委員会の名称

遠く離れた場所から運営参加！

POINT.1

教員理事の提案から生まれた総代交流会！



立命館生協の総代交流会は各キャンパスでそれぞれ行われます。当初APUでは総代会直後の第1回理事会の裏で開催する予定でしたが、**教員理事の方より総代と一緒に交流したいという声が上がリ、総代会開始前に開催されました！** Student Coopと店長、教員理事の三者が協力して組合員の声を積極的に汲み取ることが出来ました！

このように、学生理事だけでなく**教員理事も積極的に組合員活動に関わっていきけるような基盤づくりを進めることも非常に重要です。**

POINT.2

APUならではのテーマでグループ協議！

交流会では総代が3グループに分かれ、Student CoopのメンバーがGLを務めて協議を行いました。協議は「食について」「国際生サポートについて」「健康安全と生活について」という**APUならではの3つのテーマ**について行われました。どのグループでも活発に意見や要望が出され、**総代同士のコミュニケーションにも繋がっていました。**大学の現状と学生生活の実態に即した意見を伝えることが出来ることも総代という立場の強みですね！



POINT.3

食堂に集合して総代会にオンライン参加！



交流会のあとは休憩をはさんで食堂に集合したまま**オンラインで総代会対面会場の様子を見学し、**適宜店長より内容や流れの補足がありました。同じ場所に集合して参加することで難しい議案も補足を受けながら理解することが出来ました。**キャンパスは遠く離れていても同じ大学生協の組合員として運営に参加できる仕組みが整えられていました！**

また、APUからも1名の総代が京都の会場に実出席し、意見を発表しました。**対面とオンラインそれぞれの会場で総代の声を聴くことが出来ている点が素敵ですね！**

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [進藤 景太]
Shindo.Keita@univ.coop